

第1回有識者会議（8/5）でいただいたご意見と対応について

資料1

No	意見概要	札幌市の対応
1	前回戦略のアウトプット（取組内容等）をいただきたい。	前回戦略と取組内容については、9/10のメールにてお送りさせていただいたとおり。
2	前回戦略におけるアンケート結果の反映部分をご教示いただきたい。	参考資料1「前回アンケートと取組のまとめ」のとおり。
3	テレワークを制度として取り入れている市内企業の割合をご教示いただきたい。	参考資料2「令和5年度 企業経営動向調査（テレワーク抜粋）」のとおり。
4	アンケート項目について、現状分析だけでなく、今後のビジョンについての設問を追加していただきたい。	現状分析の設問を整理し、ICT活用に対して市民が期待することについての設問を新たに11問設けることとした。
5	アンケート項目について、市民の悩みや戦略に反映できるような設問になるようにしていただきたい。	
6	アンケート項目について、働き方に対する設問を追加していただきたい。	アンケート項目に働き方に対する設問を追加した。
7	基本戦略の期間が8年間とのことだが、デジタル技術の進歩するスピードを考えると長いように感じる。	ICT分野は、技術の進化や取り巻く情勢の移り変わりが早いことを踏まえ、中間年である令和9年度を目途に戦略の見直しを行うこととし、戦略に記載する。
8	戦略で記載する目標は、大きな目標を設定していただきたい。	行政手続きのオンラインカバー率を100%にする等、8年間を見据えた大きな目標を設定するよう検討を進める。
9	オープンデータの取組は、デジタル戦略推進局が横断的に引っ張っていくべきである。	準公共分野（交通など）を中心に行政及び民間企業のデータ利活用、データ連携について、新たな官民協働の体制と仕組みづくりの検討を進めることとしたい。
10	リアルタイムなデータのAPIや蓄積されたデータの利用方法についても議論を進めるべきである。	
11	法律や制約条件を整理しつつデータの利活用を進めていくことが重要である。戦略を立てる際には、これらの点を考慮し、多くのことが実現できるようにするべきである。	
12	テレワークの普及などを含めてこれまでの振り返りや2020年と2025年のテクノロジーの対比を記載されると良い。	これまでの取組の振り返りに関するまとめやテクノロジーの進化（ネットワーク、クラウド、AIなど）についてを戦略に記載する。